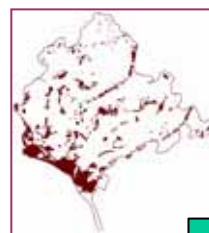


真間川流域総合治水対策事業の効果について ～水害を防ぐ総合的な取り組み～



真間川は昭和54年に総合治水対策特定河川に指定されました。

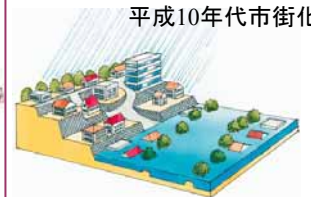
流域内の急激な市街化のために河道や調節池の整備・流域対策が追いつかず、昭和50年代以降も5～6年に一度の割合で記録に残る大きな水害が発生しています。



昭和30年代市街化が進む前



平成10年代市街化が進んだ後



平成5年8月台風11号出水
(市川市曾谷地先)

平常時



平成5年8月台風11号出水
(松戸市大橋地先)

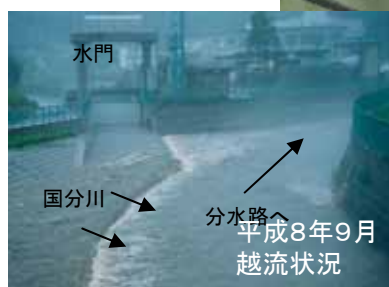
戦後の主な水害

被災年	被害原因	降水量		被災規模	
		累計(mm)	時間最大(mm/時間)	家屋浸水(戸)	浸水面積(ha)
昭和33年 9月	台風22号(狩野川台風)	332	60	5016	736
'36年10月	台風24号	138	27	1486	-
'41年 6月	台風 4号	99	-	1812	383
●'56年10月	台風24号	202	60	4880	677
'57年 9月	台風18号	148	23	1095	422
'61年 8月	台風10号	175	28	2967	414
平成元年 8月	台風17号	110	34	1967	91.6
●5年 8月	台風11号	229	41	2382	400
'8年 9月	台風17号	265	31	306	112

●・・・*河川激甚災害対策特別緊急事業の採択の契機となった水害

総合治水計画に基づき、平成6年度に国分川分水路を完成させ、松戸市からの洪水を江戸川に流すことによって、国分川春木川の洪水被害が激減しました。【右下の浸水実績図：H5浸水被害(濃い青)→H8浸水被害(赤)】

国分川分水路
(平成6年度完成)



水門

国分川

分水路へ

平成8年9月
越流状況



河道改修を進めるとともに、調節池(大柏川第1調節池・大柏川第2調節池・国分川調節池)の整備を行っています。

また、流域抑制対策として、雨水貯留浸透施設の設置や、流域市による、雨水浸透柵・天水槽の設置の奨励、土地利用の規制を行っており、河川事業と共に治水効果を高めています。

流域抑制対策達成率86%